

MCにおける図表ファイル投稿の注意点

MCにおいてはシステムの制約上、本文・図表などすべてのファイル容量の合計が1論文あたり20MBまでと決められています。このため、図版の投稿方法には次の3種類の方法のいずれかを御取りいただくことになります。ただし、①→③の順序で査読に回るまでの時間がかかることになります。

①写真などの図版が少なく、投稿するすべてのファイル容量が合計20MBを超えない場合：MCに投稿したファイルがそのまま印刷及び電子ジャーナルアップロードに利用されます。また、編集局による投稿ファイルのチェックが終わり次第すぐに原稿が査読に回されます。図の解像度が十分であるかどうか、投稿者の責任でチェックをお願いします。

②図版のデジタルファイルはすべて用意できるが、投稿するファイル容量の合計が20MBを超えてしまう場合：解像度を落とした査読用のファイルを用意していただき、MCからアップロードして、その場で作成されたPDFファイルを見て査読に耐えうることを確認してください（PDFファイルには低解像度と高解像度の2種類が生成できることに注意）。この場合、印刷用の高解像度のファイルはCDに記録して採択時にZS編集局に別途郵送していただくことになります。また、投稿時のCover Letterにはその旨を明記してください。

③図版からの版下作成を印刷会社に任せる場合（カラー写真、電頭写真など、高品質を保ちたいが、自分でデジタルファイルを作成できない場合）：原図を2部郵送していただき、印刷会社で査読用のデジタルファイルを作成すると同時に原図は印刷会社で保管しておき、採択後印刷時に使用する（従来の投稿方法と同様で、手数料もかかりません）。この場合、最初の論文投稿時には“Files to be sent in off-line”のところに郵送する図版の種類と数を明記してください。後ほど編集局がデジタルファイルを著者に代わって代理投稿しますので、お知らせのメールが届きましたら、MCで作成されたPDFファイルの確認をした上で、改めてSubmitを完了してください。

以上がMCにおける図表ファイル投稿時の注意点です。これらの内容について不明の点がありましたら、メールでZS編集局まで御問い合わせください。

ZS Editorial Office (高島) zs-office@umin.ac.jp